

【高山市】
ネットワーク整備計画

1. 必要なネットワーク速度が確保できている学校数、総学校数に占める割合（％）

市内学校数：小学校 19 校、中学校 12 校（計 31 校）

必要なネットワーク速度が確保できている学校数：1 校（3.2％）

※令和 6 年 6 月高山市で実施した速度調査の結果による。

2. 必要なネットワーク速度の確保に向けたスケジュール

（1）ネットワークアセスメントによる課題特定のスケジュール

令和 6 年 11 月 市内の抽出校にて※校内 LAN に関するネットワークアセスメントを実施。
その結果、学校内の配線等には問題はないことが判明した。

令和 7 年 2 月 市内の抽出校にて※ネットワークの設定変更による速度確保を検証。
一部の児童生徒がデジタル教科書に接続できなかった状況が改善され、スムーズに活用できるようになった。しかし、必要なネットワーク速度の確保までには至っていない。

※ 高山市においては、令和 2 年度に市内の全小中学校を対象に同じ設計でネットワーク工事を実施しており、課題があるとすれば、すべての学校に共通するものとなると考えられる上、アセスメント費用自体も高額であるため、抽出校調査とした。

これらを踏まえて、今後も引き続き必要なネットワーク速度の確保を目指して、更に詳細な調査による原因の特定に取り組んでいく。

（2）ネットワークアセスメントを踏まえた改善スケジュール

令和 7 年度の端末更新により、現在の校内 LAN（Wi-Fi 通信）に加え、LTE 通信も使用できるモデルに変更する。これによりネットワーク速度が確保できなかったり、デジタルコンテンツに接続ができない児童生徒がいたりした時に、原則 Wi-Fi 通信で接続しながら一部の端末を LTE 通信に切り替えることで改善を図ることが可能となる。

また、契約するキャリア会社が、運用開始前に各学校とその周辺で必要なネットワーク速度を LTE 通信によって確保できるかどうかを事前調査し、その確実な実現に向けた対策を実施していく。なおモバイル回線は、周辺の建物の状況の変化によっても電波の状況が変わり、ネットワーク速度に影響を与えるため、運用期間中においても通信の不調時は、随時キャリア会社にて調査を実施し、対応していく。

LTE 通信対応端末に更新するが、校内 LAN（Wi-Fi 通信）のネットワーク速度の改善にも引き続き、取り組んでいく。具体的には、令和 7 年度内に市内の学校に対して回線の増強を実施する。